

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	36	事業名	成人保健事業	担当部課	福祉部健康推進課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち		決算書 ページ	—
	行政改革指針・重点課題	5 横断的な事務の推進(連携改善)		会計 区分	一般会計
	法定受託事務の有無	有	健康増進法	予算区分(款－項－目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有	長久手市健康づくり計画	4-1-2 予防費	
	事業開始の背景、経緯等	生活習慣病を予防する対策の一環として、疾病の早期発見・早期治療によって市民の生涯にわたる健康の保持増進を図ることを目的とし実施			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	民間事業者とのみ協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 生活習慣病を予防する対策の一環として、健診の受診により市民が若い世代から健康に関心を持ち、疾病の早期発見・早期治療によって市民の生涯にわたる健康の保持増進を図る。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 40歳以上の市民(ただし、39歳以下健診は、16歳～39歳)					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 若い世代から健康に関心を持ち、健康の保持増進を図る。					

項目	単位	区分	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	
			事業費(A)	千円	予算	148,159	144,327	151,677
			決算	136,804	141,090	151,696	148,094	
人件費(B)	千円	決算	23,701	21,607	18,934	22,262		
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	160,505	162,697	170,630	170,356		
事業対象の数(D) (R4年度は想定数)	人		30,721	30,624	28,384	24,949	25,447	
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		5	5	6	6		

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)
			健康診査受診者数	人	目標	30,209	30,721
		実績	30,721	30,624	28,384	24,949	
(指標の設定根拠)			(数値目標の根拠)				
受診者数の増加が、疾病の早期発見、早期治療につながるため			令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で受診控えが見られた。令和4年度の目標は令和3年度実績×1.02とする。				
(前年から指標を変更した場合はその理由)							
(前年までの指標)			健康診査受診者数				

目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、感染症を気にして受診を控える傾向が見られたが、令和2年度と比べると回復傾向にあった。受診者数が減少したのは、令和2年度まで実施していた眼底検査(令和2年度眼底検査受診者数:4,053人)を令和3年度から除外したため、がん検診等受診者数としては、618人の増加となった。
活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 集団検診・個別検診とも緊急事態宣言中も、感染症対策に努め、検診を継続して実施した。
改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 今後は検診を受けることは不要不急ではないことを伝え、疾病の早期発見には定期的に検診を受診することが必要であることを啓発していく。

事業を構成する 事務事業①	事務事業①	39歳以下健診事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)
	(1) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】 39歳以下健診受診者数	人	見込	360	380	400	410	420
			実績	202				
	(2) 39歳以下健診出席率	%	見込	90	90	90	90	90
			実績	93				
	(3)		見込					
		実績						
<備考:活動の概要(R3年度(2021))> ・39歳以下健診 5日間実施 202人受診							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する 事務事業②	事務事業②	検診事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)
	(1) 大腸検診精密検査受診率	%	見込	55	55	55	55	55
			実績	50				
	(2) 子宮検診受診率	%	見込	50	50	50	50	50
			実績	45				
	(3)		見込					
		実績						
<備考:活動の概要(R3年度(2021))> 大腸検診 要精検者数 474人 精検受診者数 237人 子宮検診 受診者数 2,223人							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する 事務事業③	事務事業③	検診事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込					
			実績					
	(3)		見込					
		実績						
<備考:活動の概要(R3年度(2021))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 若い世代の受診率が低い子宮検診と39歳以下健診を同時に受診できる日を設定し、受診率の向上を図る。精密検査未受診者に受診勧奨を行い、精検受診率の向上を図る。
	中長期の目標	(いっごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 委託料が増額しており、受益者負担の適正化のため、自己負担金の見直しについて、R5から実施できるように準備する。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・「中長期の目標」や行政改革の重要課題に基づく「受益者負担の適正化」にあるように、自己負担の見直しなどにより、市負担分の軽減に努めてください。 ・事業実施にあたっては、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、長久手市みんなで作るまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。 ・成果指標は、【事業意図】の成果が分かるアウトカム指標としてください。
内部意見への回答		